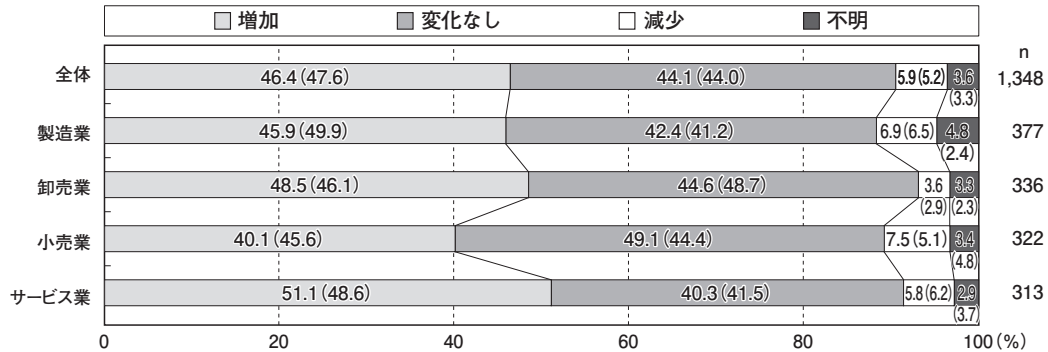


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した 2025年（令和 7 年）7 月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が 46.4%（前回調査 47.6%）と最も高く、「変化なし」が 44.1%（同44.0%）、「減少」が 5.9%（同5.2%）の順で続いた。

図表 6 コストの変化（前年同月比）



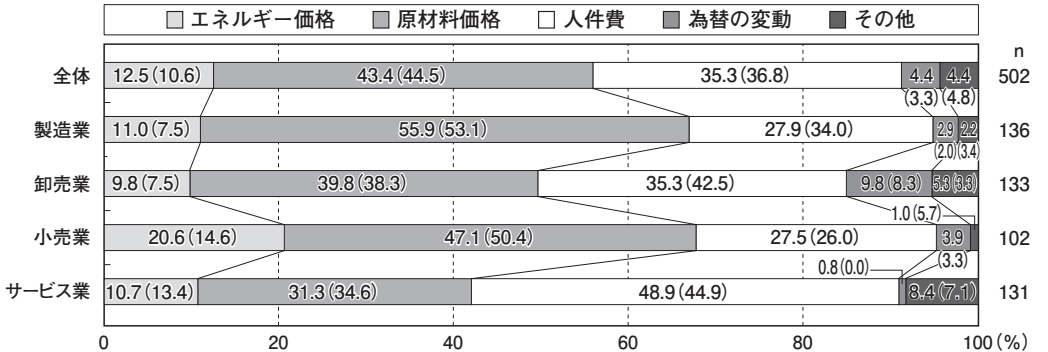
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和 7 年 7 月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が 43.4%（前回調査 44.5%）と最も高く、「人件費」が 35.3%（同36.8%）、「エネルギー価格」が 12.5%（同10.6%）、「為替の変動」が 4.4%（同3.3%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が 55.9%（同53.1%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の 9.8%（同8.3%）、小売業は「エネルギー価格」の 20.6%（同14.6%）、サービス業は「人件費」の 48.9%（同44.9%）がそれぞれ高い。

図表 7 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表 6）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 7 年 7 月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。